

## 急性腎障害の予防のために

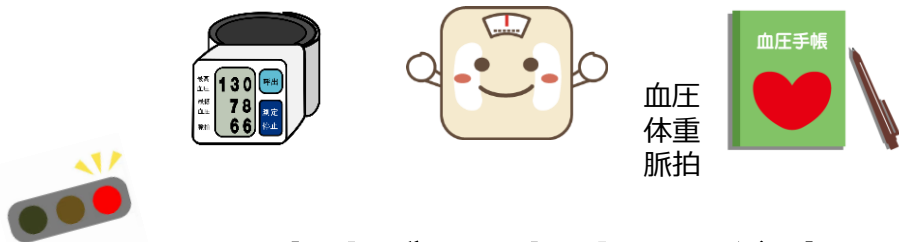
**患者さん自身の健康管理**が重要です。

血圧管理は脳卒中、心臓病、腎臓病の予防に重要ですが、脱水時など、過度の低血圧は急性腎障害のリスクとなります。

こうした体調の変化を早く見つけるためにも、

**日々の体重・血圧・脈拍を血圧手帳などに記録しましょう。**

日々の記録を受診する際に持参し、医師や看護師、または薬剤師に見せてください。



### こんな症状がある場合は要注意！

脱水がひどくなると、

**倦怠感が続いたり、ひどい食欲低下**が起こることがあります。

このような症状が現れた場合は早めの受診をするようにしてください。

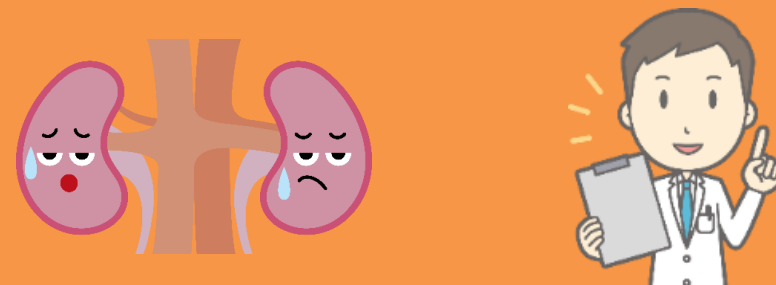
社会医療法人誠光会

お問合せ 草津総合病院 薬剤部 TEL 077-563-8866 (代表)

びわこ薬剤師会

慢性腎臓病、または心臓の薬、糖尿病の薬を服用中の方へ

## くすりによる 急性腎障害(AKI)にご注意ください



### 急性腎障害とは？

短期間で**急激に腎機能が低下する**状態です。

尿から老廃物を排泄できなくなり、体内の水分量や塩分量など(体液)を調整することができなくなります。

慢性腎臓病(CKD)の方では病状の悪化につながり、透析に至る可能性もあるため注意が必要です。

### 主な症状

- ・ **尿量低下** (尿量が減少しない場合もあります)
- ・ **むくみ** (浮腫)
- ・ **食欲低下、全身倦怠感**



# 急性腎障害の主な原因

急性腎障害の最も多い原因として腎臓への血流の低下があげられます。

## □ 脱水

大量の発汗、発熱、下痢・おう吐に伴う**血圧低下、体重減少**



## □ 薬の服用

血圧の薬

- ・ACE阻害薬 (アンジオテンシン変換酵素阻害薬)
- ・ARB (アンジオテンシンII受容体拮抗薬)
- ・利尿薬

鎮痛薬 (非ステロイド性消炎鎮痛薬)

ロキソプロフェン、ジクロフェナク等

## □ 糖尿病、心不全、肝硬変等の病気

(腎臓への血流が低下するため)

## □ 高齢者(75歳以上)

(加齢により腎臓の血管が固くなるため)



## くすりによる急性腎障害



くすりによって急性腎障害を起こすこともあります。

非ステロイド性抗炎症薬と呼ばれる**鎮痛薬の長期服用**は**腎臓の血流を低下させる**ため、脱水時など過度に血圧が下がった際に急性腎障害の危険が上昇します。

アセトアミノフェンという解熱鎮痛剤や、**外用薬**(湿布や塗り薬)は、通常量であれば比較的 safely 使用することができます。

解熱剤、鎮痛薬を使用の際は医師、薬剤師にご相談ください。

